

インフルエンザに勝つ!

毎年、冬になると流行するインフルエンザですが、昨年、横田小学校ではほとんど流行することなく過ぎていきました。「インフルエンザの流行は防ぐことができる」と自信をつけて今シーズンを迎えました。2月上旬までは昨年以上に学校内感染がなく、横田小学校は湿度が高く、感染しないようにできているのではないかと思います。しかし、2月中旬には、ついに6年生が学年閉鎖、4年生の1クラスが学級閉鎖となりました。わたしの油断や過信が子供たちに伝わったのではないかと感じました。これ以上、流行させてはいけないと思い、子供が納得して手洗い、うがい、マスクの着用ができるように「インフルエンザの弱点『患者のウイルスは1メートル以内に落下する』『ウイルスの入り口はウイルスの付いた手から』『加湿に弱い』」等を伝えました。そして、自分を家族を地域全体をインフルエンザから守るために、一人一人が予防に取り組んでいくことを呼びかけました。子供たちは、学級に感染者出たときにはマスクをする、掃除の後には保健委員が中心となり、天井を向いてうがいをするなど、インフルエンザ予防に一生懸命に取り組んでいます。



〈保健委員より〉

ぼくは毎日コロロ当番(担当の教室へ行って、うがい薬をコップに入れる仕事)をしています。はじめの頃はあまりうがいをしてくれる人がなくて10人くらいでした。次の日、声をかけてみたら、前まではしてくれなかった人がしてくれて嬉しかったです。これからはうがいをしてもらい、インフルエンザを予防したいと思います。

インフルエンザのシーズンは後1ヶ月続きます。最後まで気を抜かず、子供たちと共に予防に取り組んでいきたいと思います。

3年生 横田交通少年団入退団式

2月24日(火)に横田交通少年団入退団式が行われ、3年生53名が横田交通少年団に入団しました。今後、交通安全に対する意識を高め、お手本となって交通事故を防ぐ活動を行っていきます。式では交通少年団員として「道路への飛び出しはしません」「信号を守ります」「正しい自転車の乗り方をします」「思いやりとゆずり合いの心もちます」と誓いました。

また、3年生は卒団する6年生からオレンジ色のスカーフを譲り受け、団員としての意識が一層高まりました。

最後に代表児童が交通安全を呼びかける標語を発表し、交通ルールを守る気持ちを強くしました。高岡警察署交通課企画係長の福岡秀起様、交通安全協会横田支部長の島谷衆一様からは、地域の方々や下級生の模範となって交通安全を呼びかけてほしいと激励のお言葉をいただきました。



〈子供たちの感想より〉

- ・ スカーフをもらったとき、「これから横田交通少年団員になったんだからがんばろう」と思いました。登校のときなどに危ないことが起きないように守ってあげたいです。
- ・ 式では誓いの言葉を言ったり、標語を聞いたりしました。姿勢よく真剣に参加したので、交通安全を守っていけそうです。
- ・ 式に参加して、下級生に注意する前に、自分たちが交通安全を守らないとだめだと思いました。自分たちが守っていないのに注意しても聞いてくれないと思うからです。私は信号をきちんと守りたいと思います。
- ・ 下校のとき、一列でしっかり歩くことが私にはなかなか守れないきまりです。これから守ることができるようになるために、真剣な心で入団しました。横田交通少年団があつてよかったです。